



# 都市の生物多様性を考える トノサマガエルの存続に必要な環境とは？

サイエンスカフェはカップを片手に、気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です。

都市開発に伴う水田環境の変化はそこに棲む生物に大きな影響を与えています。中でも両生類に対する影響は深刻です。

トノサマガエルはかつては水田に普通に見られる種でしたが、近年全国各地で減少が報告されています。

今回は、研究者のタマゴをゲストに、トノサマガエルの存続に必要な環境について考えてみたいと思います。

また阪神地域で聞くことのできるカエルの鳴き声についても紹介します。

ゲスト： 道本 久美子 さん（神戸大学大学院人間発達環境学研究科大学院生）

日時： 2010年 6月19日（土）13:00から15:00

場所： 和風レストランさくら  
（神戸市灘区六甲台2-1  
アカデミア館3F, Tel:078-882-5141）  
\* 神大正門を入り左側の建物がアカデミア館です

アクセス： 阪神御影, JR 六甲道, 阪急六甲駅から  
神戸市バス 36 系統鶴甲団地行き  
「神大正門前」下車

参加費： 750円（コーヒー or 紅茶 + ケーキ）

定員： 30名程度（先着順です）  
定員になり次第しめらせていただきます

参加申し込み・お問い合わせ：神戸大学サイエンスショップ

メール：scicafe@radix.h.kobe-u.ac.jp

TEL・FAX：078(803)7979

\* お申し込みの際お送りいただけます個人情報  
本サイエンスカフェの運営管理の目的にのみ利用させていただきます

主催：サイエンスカフェ神戸  
（<http://scicafe.h.kobe-u.ac.jp/>）  
神戸大学サイエンスショップ  
（<http://www.h.kobe-u.ac.jp/scishop>）

